

建屋周辺の地下水位、汚染水発生状況

2019年10月31日



東京電力ホールディングス株式会社

1. 建屋周辺の地下水位、サブドレン等のくみ上げ量について	P2～3
2. 汚染水発生状況について	P4
参考資料	P5～17

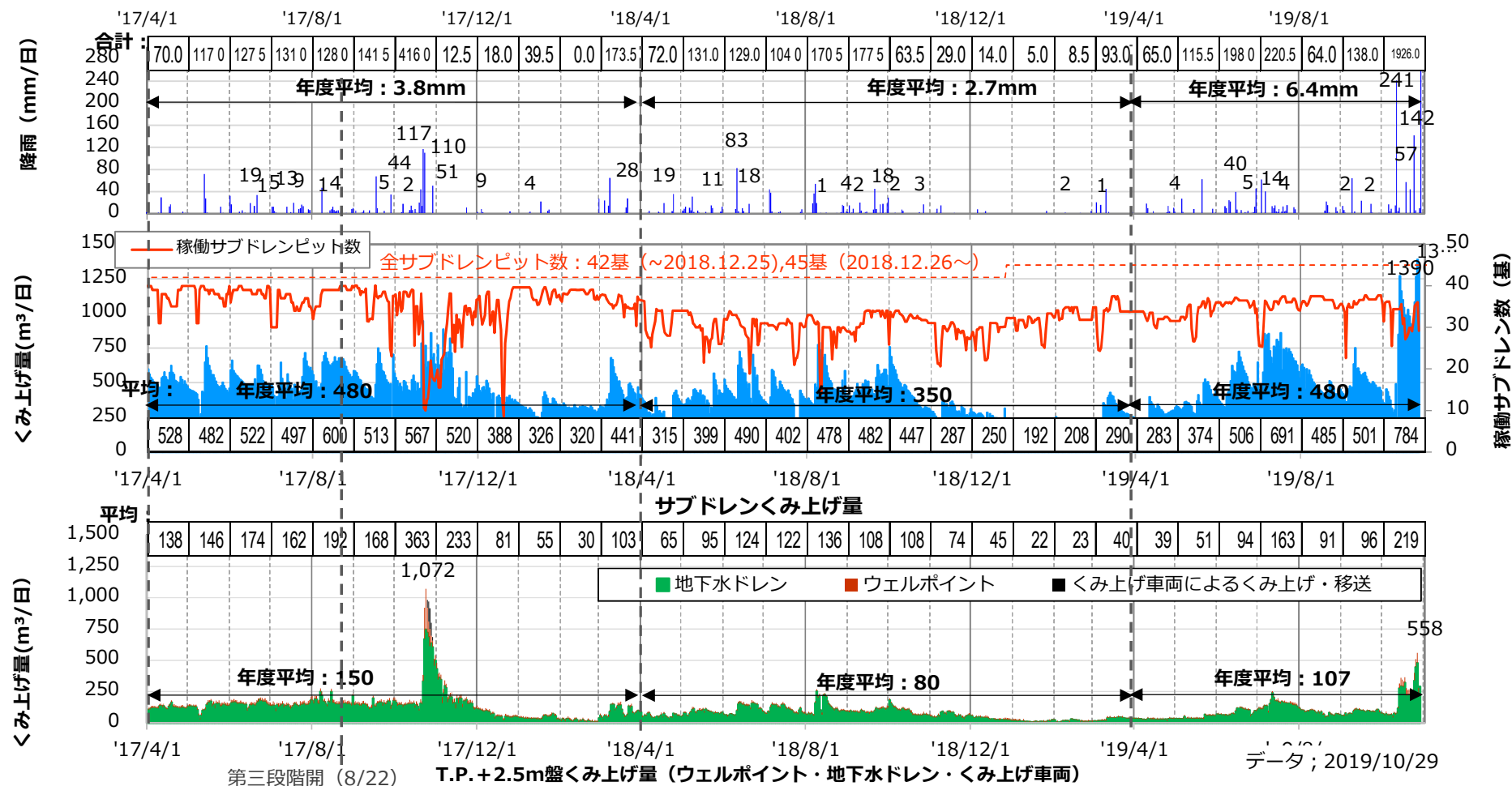
1-1 建屋周辺の地下水位の状況

- 陸側遮水壁内側エリアの地下水位は、年々低下傾向にある。
- 現状、2019年の台風19号とその後の低気圧の影響で、地下水位が上昇したが、山側では平均的に2～3mの内外水位差となっている。護岸エリア水位は、台風19号前と比較してT.P.約1.6m → T.P.約1.9mまで上昇した（地表面 T.P.2.5m）。



1-2 サブドレン・護岸エリアのくみ上げ量の推移

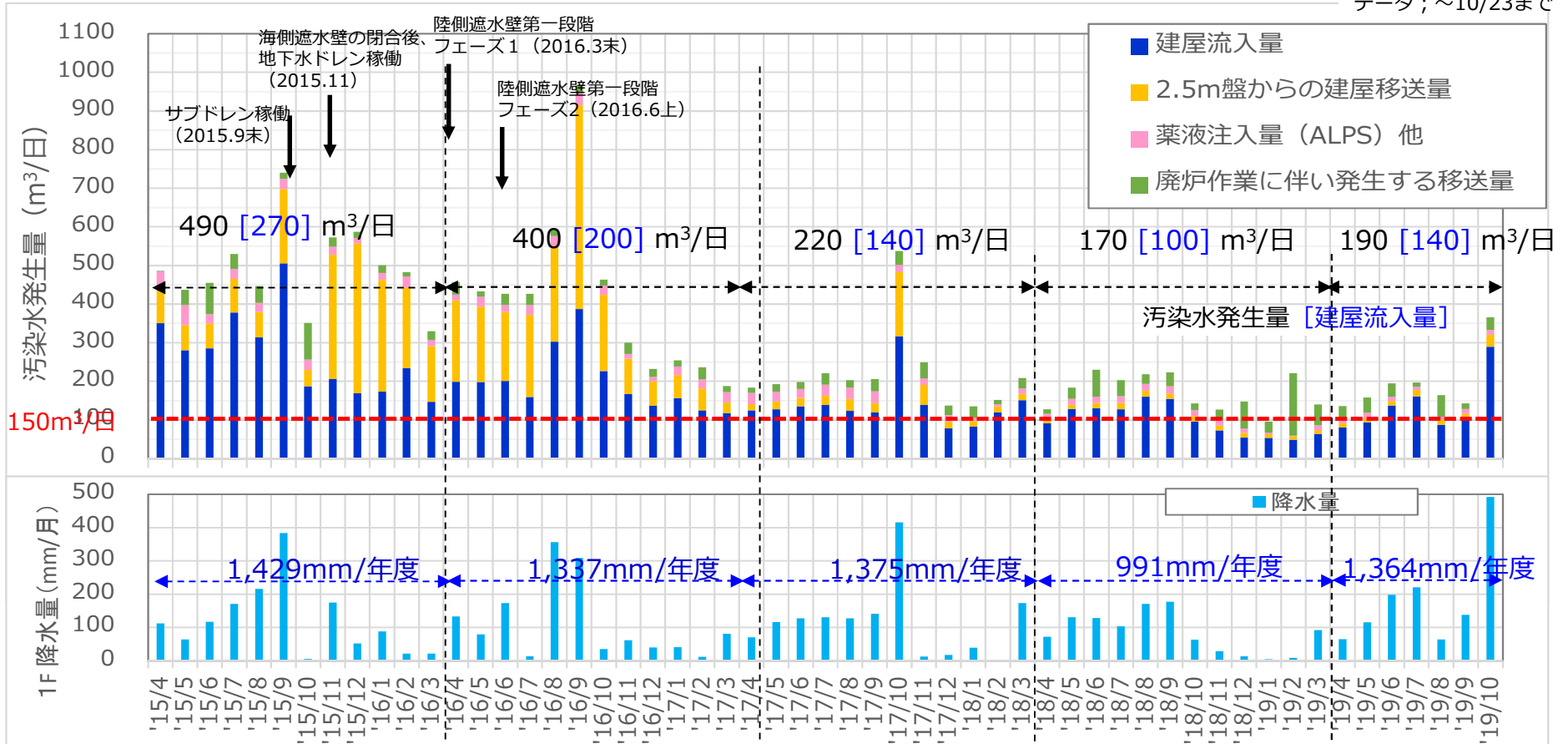
- 重層的な汚染水対策により、豪雨時に低下していたサブドレン稼働率は安定しており、地下水をくみ上げできている。
- 護岸エリア（T.P.+2.5m盤）においては2019年の台風19号およびその後の低気圧に伴う豪雨の影響により、くみ上げ量が560m³/日程度であったが、2017年の台風21号後のくみ上げ量1,100m³/日程度と比較して少ない状況である。



2-1 汚染水発生量の推移

- 陸側遮水壁、サブドレン等の重層的な対策の進捗に伴って、建屋流入量・汚染水発生量共に減少している。
2018年度は降雨量が少ないこともあり、汚染水発生量は170m³/日で、2015年度の約1/3に低減している。冬期などの降雨量が比較的少ない時期には150m³/日を下回る傾向にある。
- 至近においては台風19号以降の降雨の影響で汚染水発生量は190m³/日（4～10月までの平均値）となっている。

データ；～10/23まで



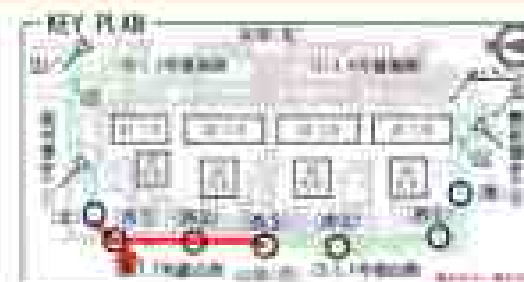
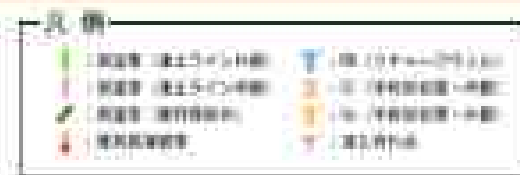
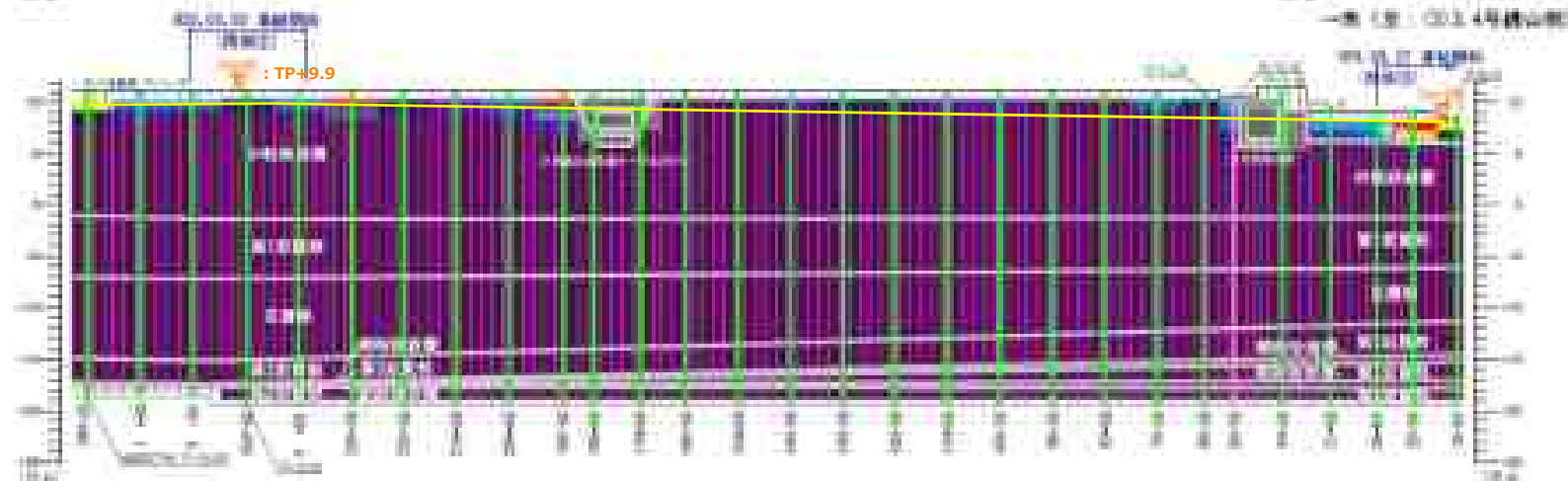
注) 2017.1までの汚染水発生量(貯蔵量増加量)は、建屋滞留水増減量(集中ラド含む)と各タンク貯蔵増減量より算出しており、気温変動の影響が大きい。2017.2以降は上表の凡例に示す発生量の内訳を積み上げて算出する方法に見直している。よって、2017.1までの発生量の内訳は参考値である。

TEPCO

The figure displays two seismic reflection profiles, TP+5.3 and TP+7.5, showing geological structures. The top profile (TP+5.3) shows a faulted sequence with labels for 'Fault', 'Seismic Unit', and 'Seismic Unit'. The bottom profile (TP+7.5) shows a similar sequence with labels for 'Fault', 'Seismic Unit', and 'Seismic Unit'. A color scale on the right indicates seismic amplitude from -10 to 10.

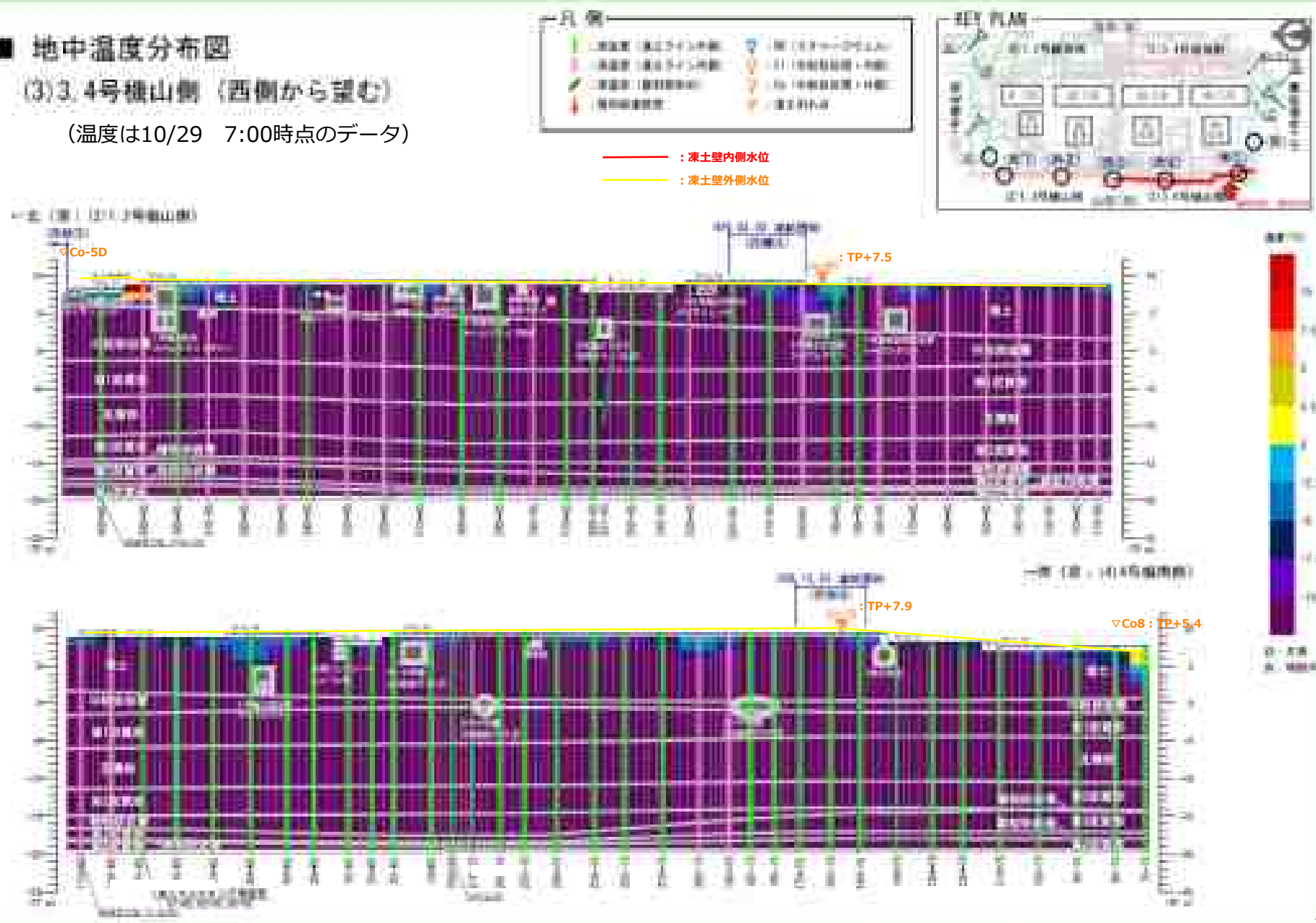
TEPCO

(温度は10/29 7:00時点のデータ)



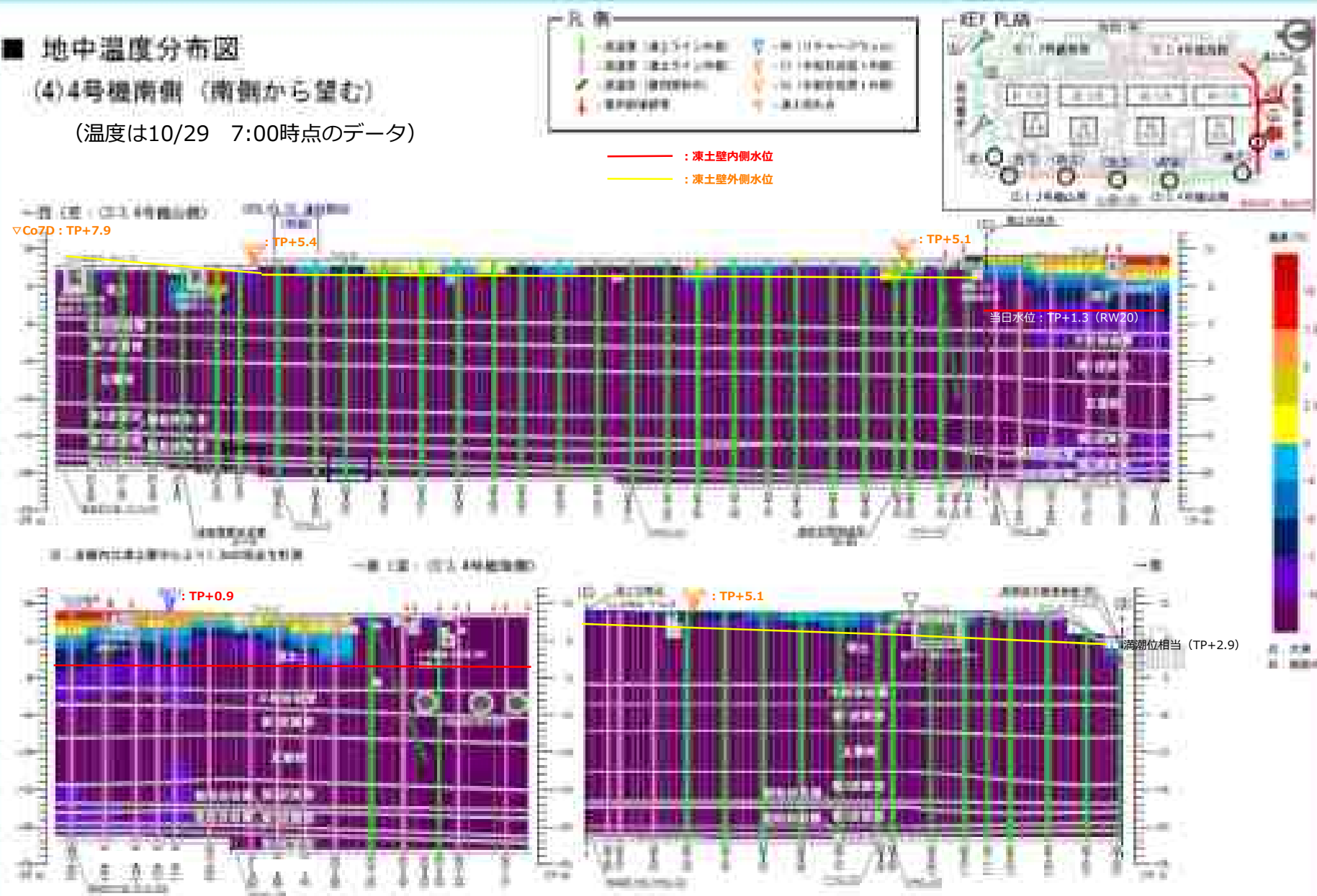
TEPCO

(温度は10/29 7:00時点のデータ)



TEPCO

(温度は10/29 7:00時点のデータ)

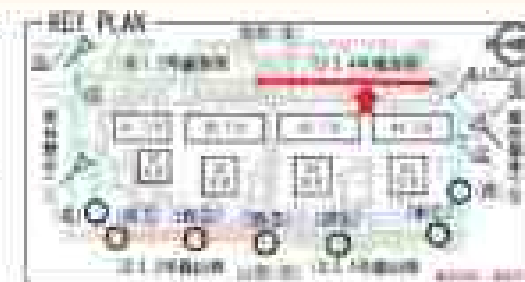
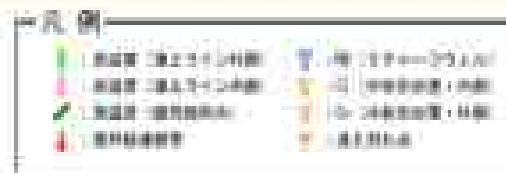


【参考】 1-5 地中温度分布図（3・4号機東側）

■ 地中温度分布図

(5) 3, 4号機海側〔西側：内側から望む〕

(温度は10/29 7:00時点のデータ)

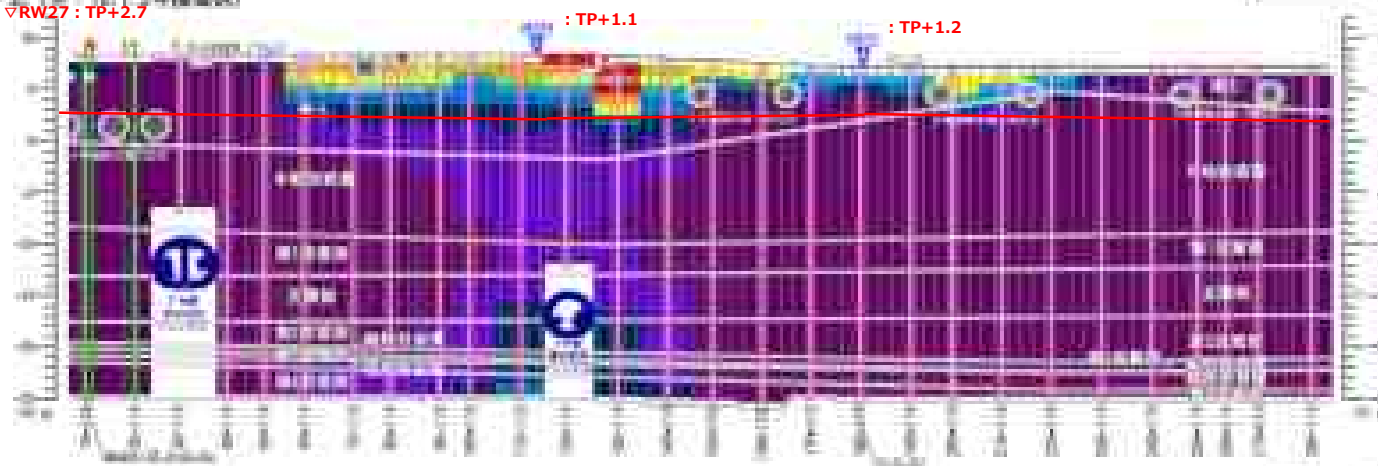


— : 凍土壁内側水位
— : 凍土壁外側水位

▽RW27 : TP+2.7

: TP+1.1

: TP+1.2

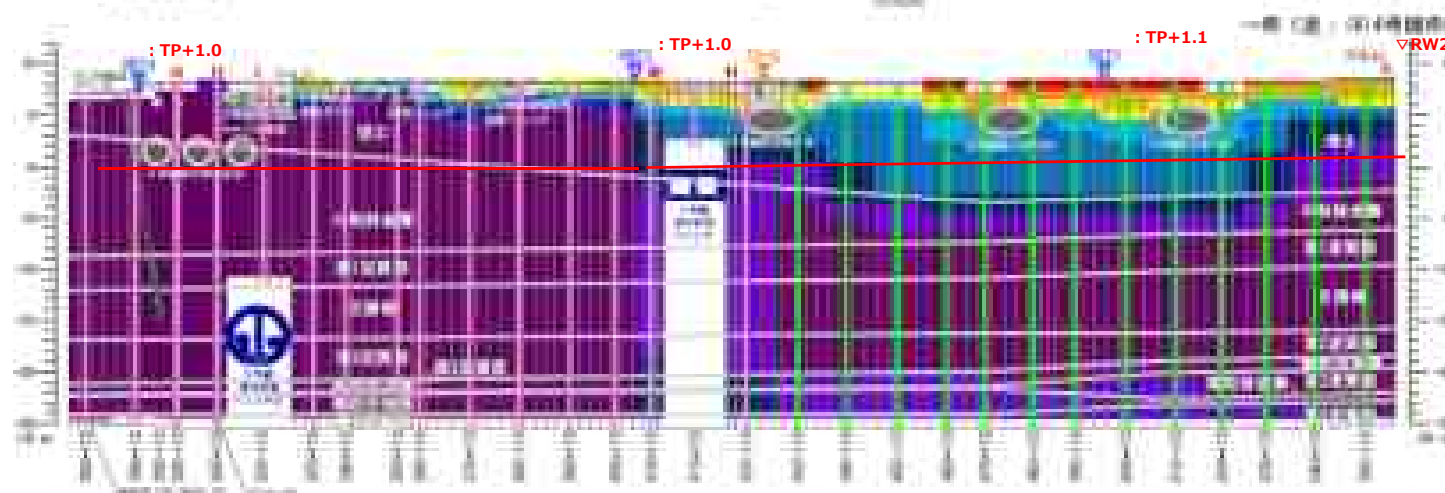


: TP+1.0

: TP+1.0

: TP+1.1

▽RW20 : TP+1.0

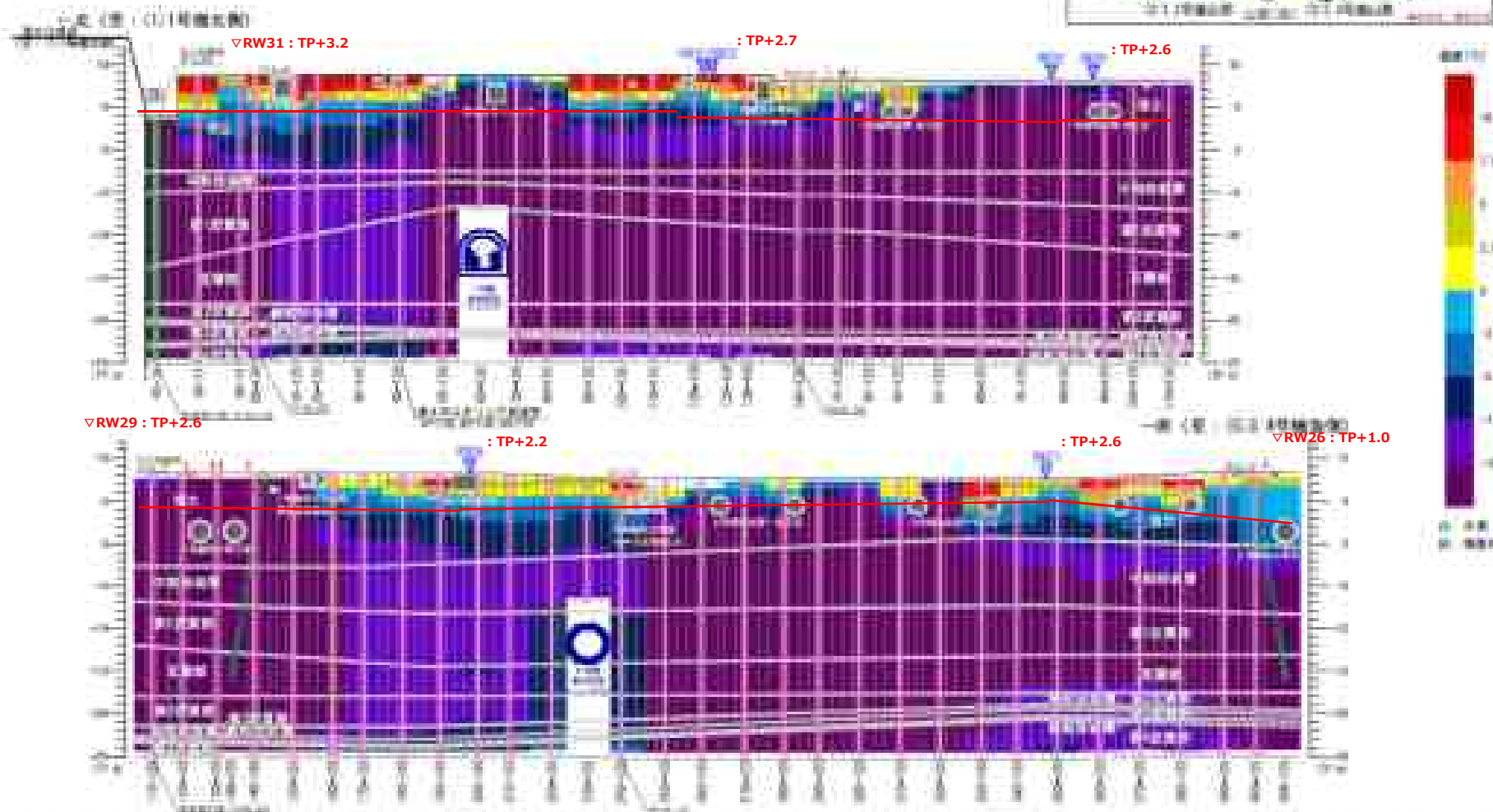
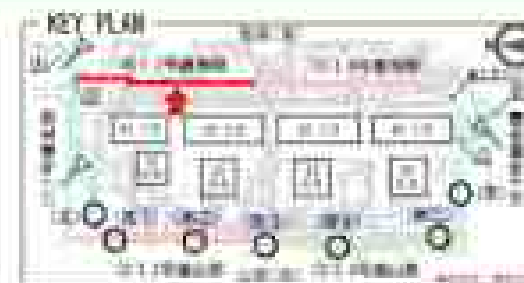
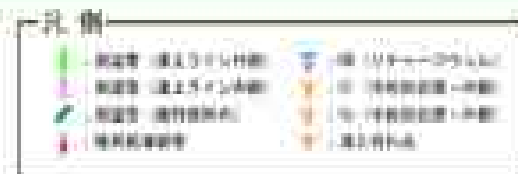


【参考】 1-6 地中温度分布図（1・2号機東側）

■ 地中温度分布図

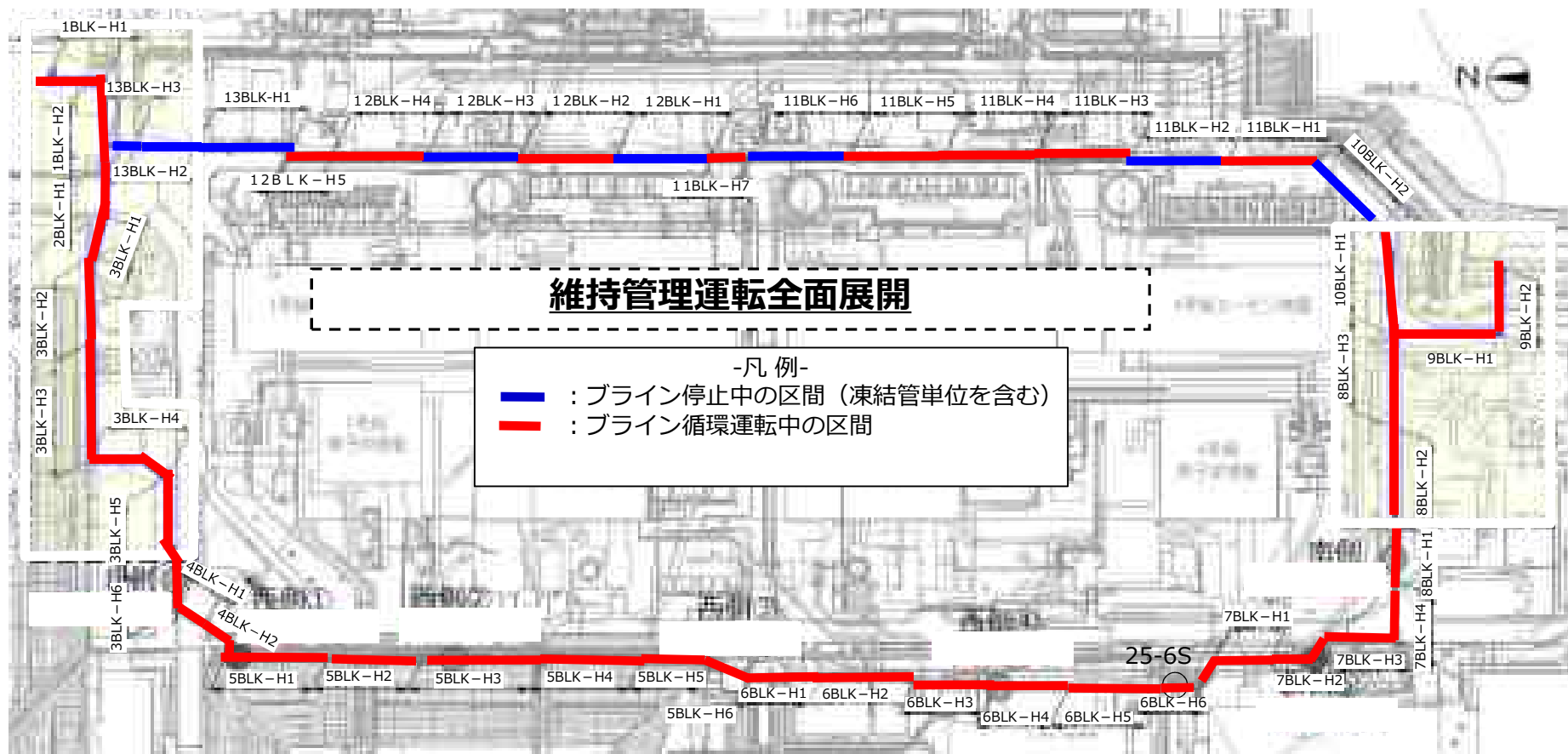
(6) 1,2号機海側（西側：内側から望む）

（温度は10/29 7:00時点のデータ）



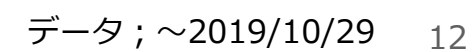
【参考】維持管理運転の状況（10/29 7:00現在）

- 維持管理運転対象全49ヘッダー管（北側11，南側8，東側15，西側15）のうち、8ヘッダー管（北側0，南側1，東側7，西側0）にてブライン停止中。

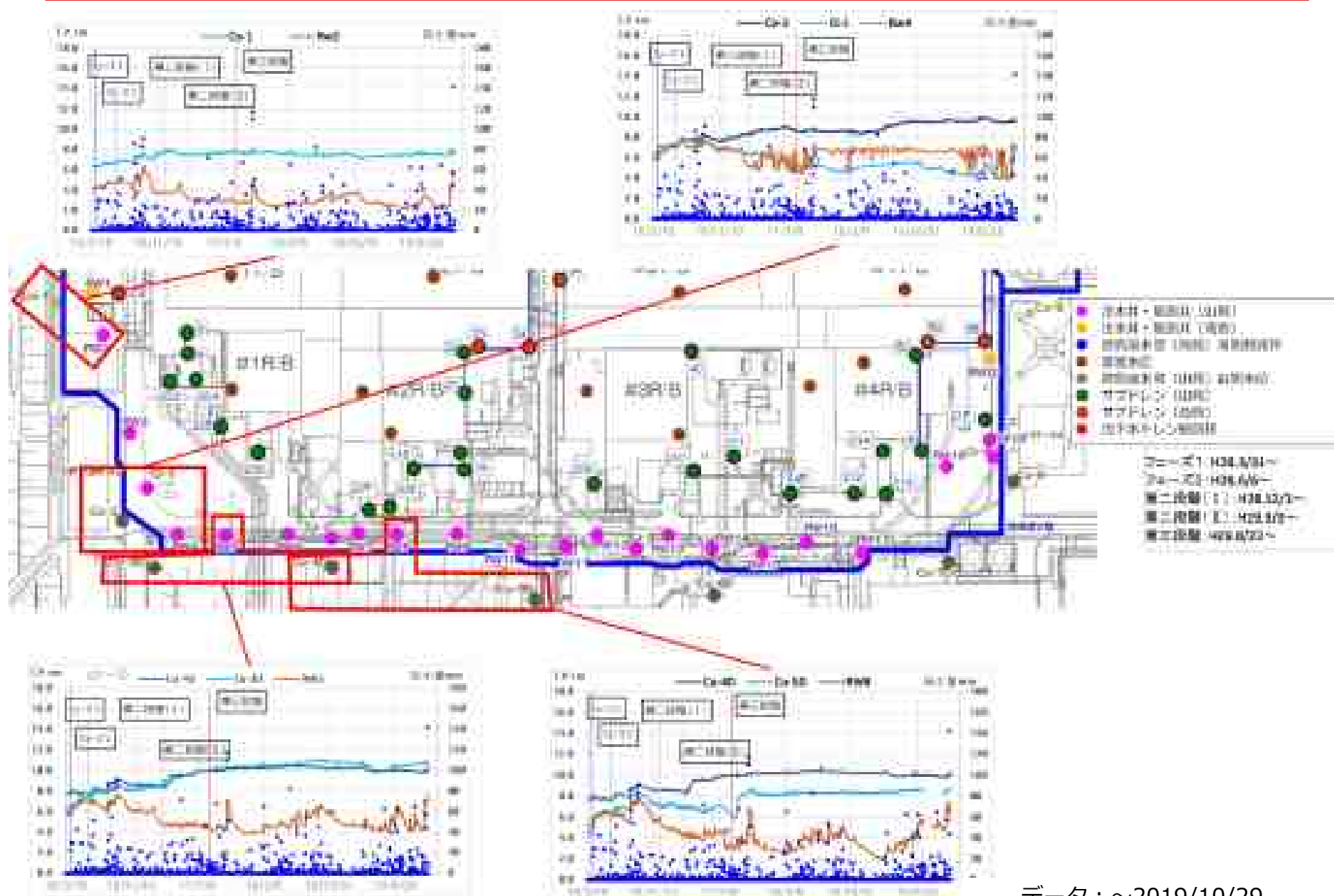


※全測温点-5℃以下かつ全測温点平均で地中温度-10℃以下でブライン循環を停止。
ブライン停止後、測温点のうちいずれか1点で地中温度-2℃以上となった場合はブラインを再循環。
なお、これら基準値は、データを蓄積して見直しを行っていく。

TEPCO

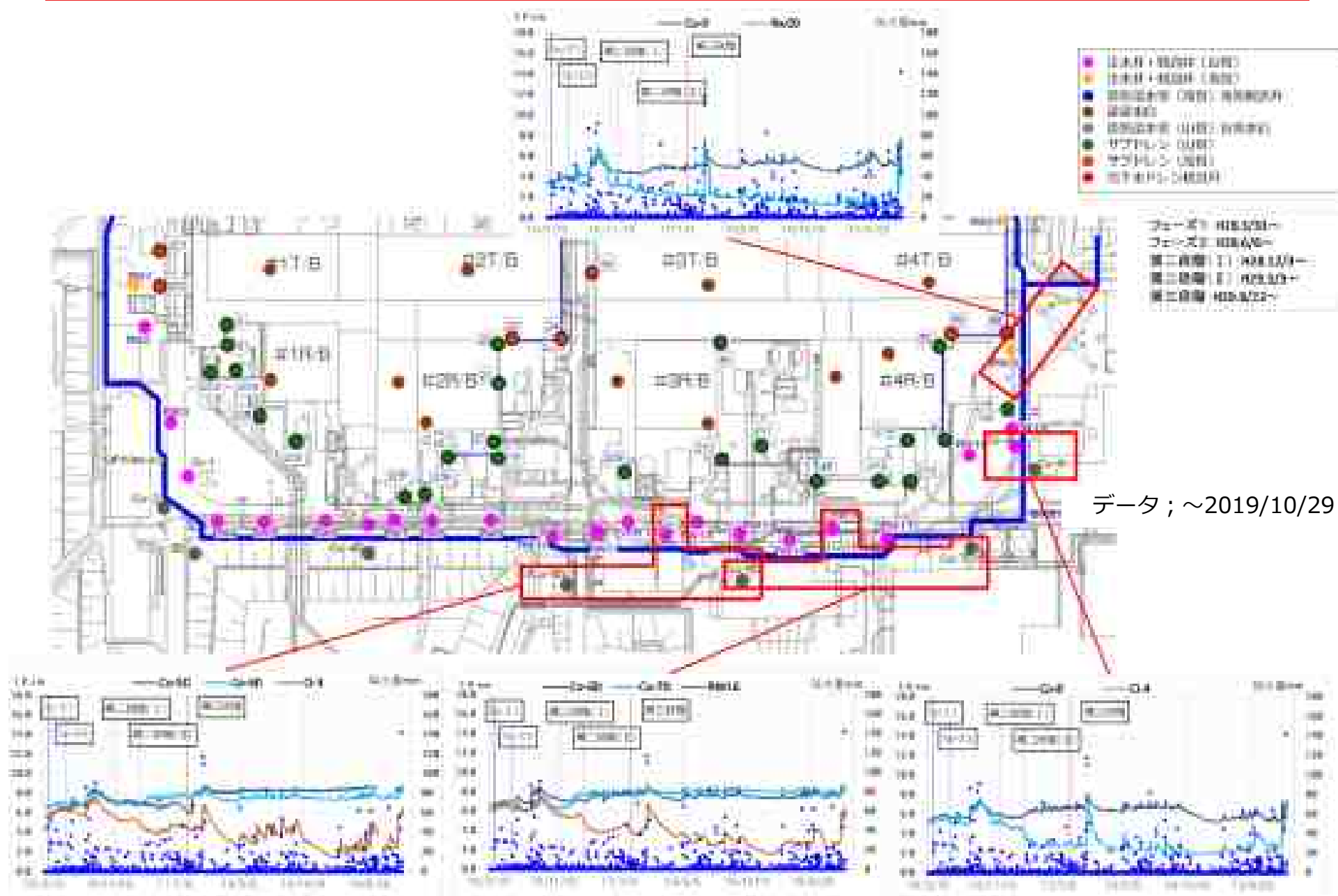


【参考】 2-2 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側①）



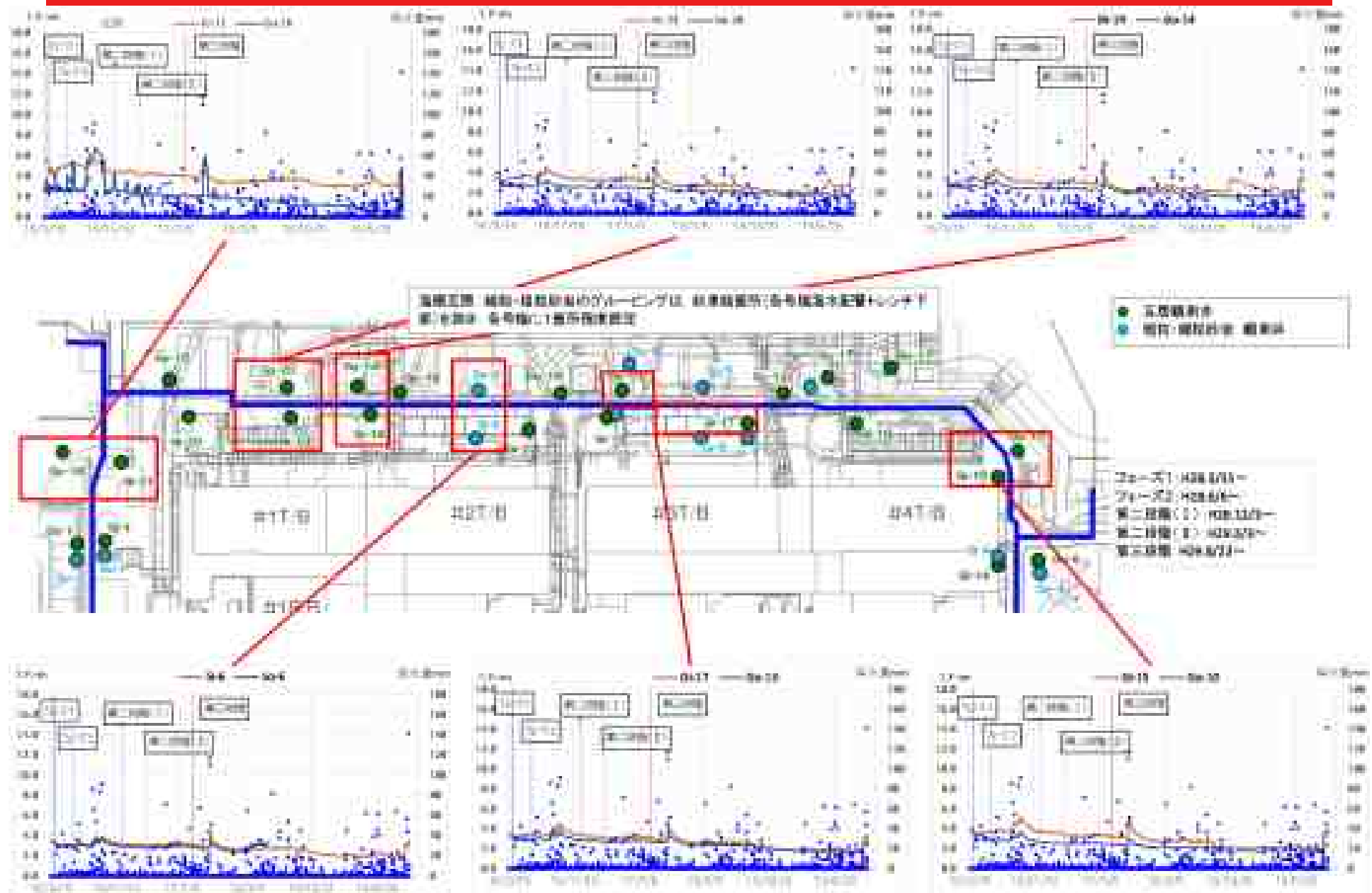
データ ; ~2019/10/29

【参考】 2-3 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側②）



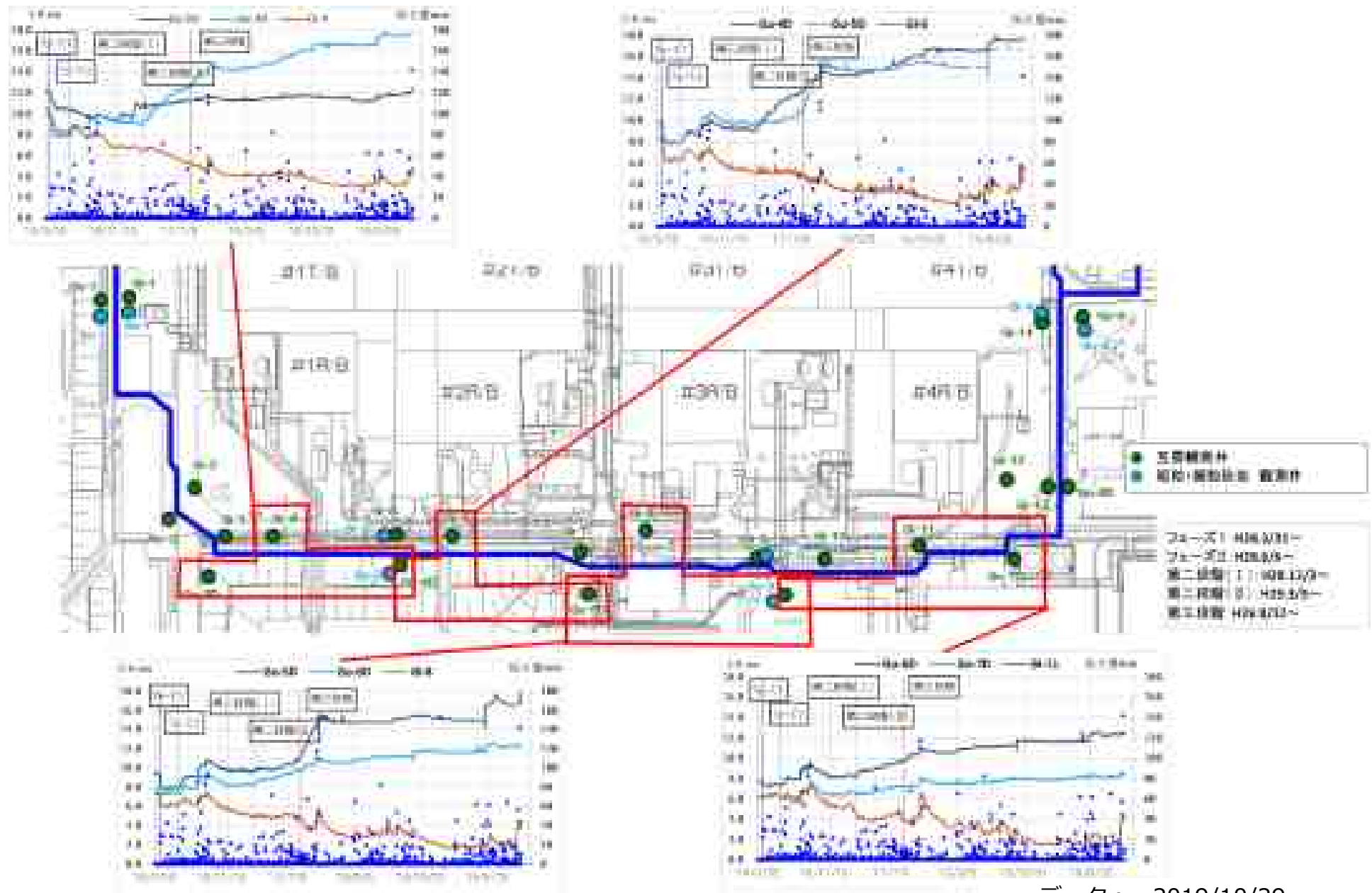
【参考】 2-4 地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 海側）

TEPCO



データ ; ~2019/10/29

【参考】 2-5 地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 山側）



【参考】サブドレン・注水井・地下水位観測井位置図

TEPCO

